

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人藤暢会

法人本部

概要

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大が、医療福祉業界の事業運営に多大な影響を及ぼしました。

岡山県の新型コロナウイルス感染者数がピークを迎える中、当社会福祉法人藤暢会では、サーモグラフィー検温や、手指消毒、利用者・職員への定期的な抗原検査の実施等、考え得る限りの徹底した感染防止対策を実施しました。

徹底した感染防止施策により、当法人への直接的な感染は防止できましたが、地域全体の感染拡大やクラスターの発生により、介護サービスの利用手控え、医療の検診、受診控えや、保育施設の受入れ停止を余儀なくされました。

新型コロナウイルスの多大な影響を受け続けた令和4年度でしたが、各拠点では安全・安心な業務運営を常に意識し、クラスター発生絶無を実現しました。

新型コロナウイルスの2類相当から5類への移行を受け、中止されていた行事の再開や経済活動が活発化する予定の中、全力で各拠点の後方支援を行っていきます。

令和4年度重点課題と対応状況

① <法人本部を主体とした後方事務の生産性向上>

各事業拠点における後方事務の人員は限られていますが、業務分担や、業務そのものの見直しにより、各課題解決を図りながら生産性向上に努めました。

勤怠管理、給与計算等のシステム化については、費用対効果を念頭に置き、見送りとなりましたが、生産性向上の観点から、継続課題として今後も検討していきます。

また、介護サービスの向上に繋がる効率化、簡素化を進め、手段としてICT化を検討し目指していきたいと考えています。

新型コロナウイルスの感染・蔓延状況を踏まえ、人材獲得手段としてオンライン人材採用媒体の活用にも着手しました。コスト低減にもなり、今後も進めていきます。

次年度に向けて、効率的、効果的な後方支援を行っていきます。

② <財務の安定>

安定した法人施設運営には、財務基盤の確立が必須要件となります。

効率的な資金管理により、安定した法人運営に注力し、各拠点で発生する様々な資金ニーズに対応を行いました。今後も調達、運用のバランスを図りつつ安定した資金管理を行っていきます。併せて、寄付金募集強化を図っていく方針です。

今後も、財務の健全性を強化するため、税理士法人との連携、金融機関との関係強化につとめていきます。透明性が求められる社会福祉法人の、財務面を更に健全化していきます。

③ <医療福祉サービス品質の強化支援>

藤嶋会全拠点で提供する福祉、医療サービスの品質をチェックし、改善、向上を支援しました。

リスクマネジメント強化により、介護、医療、保育現場での事故発生の未然防止に努めてきました。また、業務運営上求められる能力の習得、向上に向けた各種研修や講習への参加を積極的に後押しし、CS（顧客満足度）の向上に注力しました。

法人本部運営状況

理事長、業務執行理事を中心としたガバナンス強化への取組を図りました。公共性の高い社会福祉法人運営には、組織運営の強化は必須と考えるものです。

地域連携として、行政、関係各機関との連携を強化し、円滑な事業運営に注力してきました。また、社会福祉法人としての責任を全うするため、各機関との連携、調整を更に強化していきます。

今後の法人本部運営

① 5類移行後の新型コロナウイルス対策

コロナ禍における感染対策、対応を踏まえつつ、感染予防能力の維持向上を図りながら、活性化する社会活動に対応していくことが求められます。医療機関との連携を図りながら万全の体制で対応していきます。

② 2024年介護報酬改定

介護報酬改定が及ぼす当法人全体への影響を調査検討し、対策を準備します。また、目前に迫る「2025年問題」への対応を協議、検討します。

2025年は、団塊の世代が後期高齢に達し、人口の4分の1が後期高齢者となり、介護サービスのニーズが高まる一方で、深刻な介護人材不足に陥ると予測されています。人材確保に向けて、あらゆるネットワークを駆使し積極的に行動していきます。

。

令和4年度 事業報告書

特別養護老人ホーム あかり

事業環境を見据えた人材の確保と安定した事業運営に努めました。ICT機器による業務技術改善から得る介護職員の効率的生産性の向上については、機器導入の現実的な予算やコロナ禍の中、導入へのタイムスケジュールを図ることが課題となり、計画を再度検討する結果となりました。

また、甚大なる水害、地震災害や新型コロナウイルス感染症等の感染に対し、持続可能な介護サービスの提供ができるよう、定期訓練やBCP構築による関係機関等と連携により、施設の運営に備えることを責務として取り組みました。

そんな中でも、認知症予防や健康で生活のできる高齢サービスを充実させるとともに、あかり拠点では『医療・介護・介護予防・生活の支援』を総合的に提供することができました。

この地域において包括的に対応できる質の高い施設ケアの提供や、地域における『共生社会、自立支援、重度化防止』が地域における高齢者、一人一人の暮らしや生きがいになるように、必要に応じた受入れの対応や温かい施設づくりを職員と手を取りあって創ることを基本方針とし、令和4年度もコロナ禍の中ではありましたが職員全員で知恵を出し合い取り組みました。

1. 事業計画

● あかり基本理念4項『常に進化し続ける施設です』の基

施設・スタッフ・サービスの改善やレベルアップに重点をおきながら、令和4年度はアフターコロナを見据えながらも、新型コロナウイルス感染防止を引き続き最優先に事業運営を行い、また、入居者様及び利用者様が日々の生活にご満足いただけるようなケアの提供に尽力しました。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症が発生し始めた3年4ヶ月もの期間、入居者、利用者様に一人も感染することなく事業運営ができたことは、職員一人一人が感染防止の徹底による日々の業務へ向き合った結果の賜物です。

① LIFE取得(科学的介護情報システム)やICT(情報通信技術)機器の導入について

⇒ 褥瘡マネジメント加算(嘱託医連携)、排泄支援加算取得、口腔衛生管理加算取得(歯科衛生士連携)。情報通信技術機器やロボットの導入の検討を図りましたが、加算取

得については体制の確立ができず未取得となり、機器導入については予算含め要検討としました。

⇒ 人材不足への対策及び業務効率化については、介護職員の負担軽減を図りながらも、介護ケアの質の向上を図りながら、適材適所に一部職員の補充を行いました。

② 介護人材の育成・確保・職員の資質向上・介護サービスの質の向上

⇒ 介護福祉士実務者研修の実習施設としてコロナ禍の中、感染防止徹底の上で研修を継続し地域福祉を担う人材育成や輩出に貢献しました。（5月～10月開催）

⇒ 認定特定行為業務従事者研修開催を施設看護師と連携し施設職員の取得増を目指しております。（現7名取得）→結果受講無

⇒ 施設介護福祉士から介護支援専門員資格取得を応援→ケアマネ受験サポートの新設受講1名。

⇒ ユニット・リーダー研修取得新規3名の受講目標→結果受講2名。

⇒ 防火管理者資格取得目標2名→結果受講無。

⇒ 各職種によりZOOM研修等に各部門から参加。

③ 介護報酬改定の対応と職員処遇改善により経営の効率化

⇒ 1. 介護報酬改定新規加算取得については適合する加算は取得し、特定処遇改善加算取得（上半期中）については未取得となり検討要としました。

⇒ 2. 処遇改善支援補助金支給は取得し、介護職員に処遇改善を行いました。

④ 安全管理対策

コロナ禍の中、年2回の避難誘導、消火訓練を自衛消防において実施しました。

また、地元自治体の福祉緊急避難所としての準備をしております。

⇒ 災害BCP定期訓練の実施、避難確保計画に基づき水害、地震のBCP訓練を行いました。（自衛消防水害想定垂直避難訓練実施）

⇒ AED及びタッピング法蘇生訓練の実施（職員救急救命士指導）→AEDはコロナ禍において中止とし、タッピング法蘇生訓練を行いました。

⇒ 感染BCP定期訓練の実施（10月実施）→クラスター想定は今後の課題。

⑤ 介護保険の安定的運営を行う。（介護サービス利用支援）

多様な医療・福祉・介護相談に対応するため、高齢者でも独居高齢者や要介護者が増加する中、『認知症予防、自立支援、重度化防止』の防止策として、多様な専門スタッフによる相談窓口の充実を図り、『地域の声・悩み・相談』に手を差し伸べる施設計画でしたが、コロナ禍において下記、専門職の公益相談会は中止としました。

⇒ 看護師（地域薬剤師との連携によるお薬相談及び研修開催）

- ⇒ 介護支援専門員、生活相談員（要支援・要介護認定等知恵袋、短期入所生活、予防介護利用相談及び特養入居相談会開催）
 - ⇒ 管理栄養士（食事、栄養カロリー、介護食に関する相談会開催）
 - ⇒ 介護士（高齢介護者及び独居高齢者等オムツの選択、オムツのあて方等相談会開催）
 - ⇒ 歯科衛生士（口腔ケアの必要性及び口腔ケアの手法相談会実施）
- 拠点間連携強化による関係機関及び公益情報提供サービス場として確立したい。

⑥ 関係医療機関との連携及び感染対策

- ⇒ 津山クリニックや地域医療機関と連携し、入居者（嘱託医定期回診）、利用者、職員（定期健康診断実施）の健康維持と健康管理の徹底に努めました。
 - ⇒ 歯科による定期訪問診療及び指導に基づく日常の口腔ケアの実施に努め、誤嚥性肺炎の防止に力を注ぎました。
 - ⇒ 特に新型コロナウイルス感染症については、新規入居時や新規ショートステイ利用時は抗原検査の継続を行い、安心・安全を確保した上で利用をいただきました。
 - ⇒ 職員も同様に施設指示の抗原検査や私用による抗原検査を必要に応じ行い、安心・安全を担保し職務に就くことを継続しました。
- 更に、国・県からの抗原集中検査を毎月、各週単位で抗原キットを配布いただき、安心して職務に就くことができました。

⑦ 栄養の管理

- ⇒ 食事の内容及び提供の方法は、食事摂取基準を満たす献立になるよう委託業者と協力し定期での給食会議や厨房ミーティングにおいて、食事の形態を密に相談し、入居者、利用者様の食事の内容や栄養の充実に注力しました。
- ⇒ 常に情報を共有し改良を繰り返し行いながら入居者、利用者様に安心安全で生活習慣病予防や改善となるよう、心から満足いただける食事を提供しました。
- ⇒ 嗜好調査を実施しその評価分析を用いて利用者様の要望に合った食事を提供するように心掛け、誤嚥事故防止にも注力しました。
- ⇒ LIFE（栄養マネジメント強化加算）の取得に基づき、入居者様の栄養状態の維持及び改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、各入所者の状態に応じた栄養管理を計画的に実施することができました。
- ⇒ 衛生的な厨房環境の整備に配慮し、特に食中毒の発生やコロナ感染症のリスクの回避に努めました。

⑧ 機能訓練

- ⇒ 看護職員により、個人の状態に適した機能回復訓練を実施し自立支援、重度化予防に役立てました。

⇒ 介護職員により日常生活上の体操、機能訓練やレクリエーション、認知機能減退予防のための訓練等を実施し重度化防止の訓練にも役立てました。

⑨ 入居者・利用者への処遇について

⇒ 満足度アンケートを継続的に2回/年実施し、CSの結果を運営改善に活かします。アンケートについては未実施。

⇒ 家族様と各専門職や看護職、介護職による多職種間ケアカンファレンス等の情報共有がなされる場をアポイントにより定期的に作り、円滑なコミュニケーションを図り続けます。

家族様とのアポイント取得についてはコロナ禍において中止とし、電話、お手紙にて報告、連絡、相談を密にとり健康状態を報告しました。

⑩ 地域交流、ボランティアの活用（コロナ禍のため中止）

⇒ 学生及び各種ボランティア（園芸、傾聴、メイク、園芸、習字、俳句、リトミック）については中止とし、職員の知恵と協力により変化のある催事を開催し、入居者・利用者の自立支援を目的とし参加の喜びを健康維持につなげました。

⑪ ユニットケアの確立と特養・ショートステイの効果的活用の推進

⇒ 特養、ショートステイの意義と効果については、地域の在宅介護者に広く周知し、介護上の課題解決のためにあかりを活用していただきました。

⇒ 各事業所等へ長期的な予約の利用を推進することにより、ショートステイについてもロングショート利用までに幅広く対応し、月間稼働率95%、特養月間稼働率100%を目指しました。（新規受入時はコロナ感染防止対策を徹底しました）

⑫ 情報発信・共有・広報啓発

⇒ ホームページに取り組みや各種行事の状況を紹介すると共に、福祉施設としての情報開示を行いました。また、家族様への新型コロナウイルスに関する情報等、緊急連絡に活かせるために定期案内及びLINEにて実施しました。

⇒ 感染対策の一環としてタブレット等の活用によるオンライン面会を継続しつつ、感染状況を加味しながら対面面会やガラス越し面会へと移行しました。感染状況に対応した面会方法でご家族様に安心を提供させていただきました。

⇒ 岡山県の情報公表システム等を活用し、積極的な情報公開をすることで施設経営の透明性を図りました。

以上、リスクマネジメントの強化など中長期的な重要課題への対応を含め、令和4年度事業はアフターコロナを見据えながら、社会経済の回復とともに入居者、利用者、地域の潜在的な需要のある人々のあらゆるニーズに対応できるよう努めました。

今後、5類移行後も終息の目処が見えない新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底しつつ、あかり高齢者介護事業を活発的に推進します。

2. 年間行事及び各種委員会

研修についてはコロナ禍におけるオンライン研修を主として参加しました。また、行事・イベントについては、前年度同様にコロナ禍では、様々な工夫や感染防止対策を徹底した上で、規模を縮小し各ユニット単位で開催しました。

(1) 年間レクリエーション行事

行事	内容等
4月 お花見会（桜）	あかりお花見 ⇒弁当感染防止を徹底し開催
5月 春ドライブ ⇒コロナ禍の為、中止	近隣ドライブ、自宅支援
6月 運動会	各ユニット運動会 ⇒感染防止を徹底し開催
7月 七夕	各ユニット短冊設置、七夕三色そうめん ⇒感染防止を徹底し開催
8月 夏まつり	各ユニットゲーム、駄菓子屋台開設・祭食事 ⇒感染防止を徹底し開催
9月 敬老会	各ユニット高齢敬老表彰、記念品贈呈 ⇒感染防止を徹底し開催
10月 収穫祭・秋ドライブ	近隣ドライブ、買い物、自宅支援 ⇒感染防止を徹底し、可能な入居者選抜し開催
11月 文化祭	作品作成、展示、あかり喫茶/お茶会の開催 ⇒感染防止を徹底し開催
12月 クリスマス会	各ユニット開催、ケーキ作り、Xmasプレゼント ⇒感染防止を徹底し開催
1月 新年会	各ユニット新年挨拶、お雑煮、ぜんざい ⇒感染防止を徹底し開催
2月 節分祭	各ユニット開催豆まき、鬼退治 ⇒感染防止を徹底し開催
3月 ひな祭	各ユニット開催お雛様、おやつ作り ⇒感染防止を徹底し開催

(2) 各種委員会及び会議

●メンバー構成●

施設長、看護・介護職長・介護長、看護主任・ケアマネ主任、生活相談員、管理栄養士、各ユニット・リーダー、介護スタッフ、事務主任

各委員会においてメンバー構成し定期開催を行いましたが、コロナ禍での委員会、会議、研修の開催は、その開催時期の近隣のコロナ感染状況を鑑み、開催中止とする場合と書面による議決を行いました。

●各種委員会及び会議実施状況

会議の名称	実施状況	会議の主な議題
・カンファレス・朝礼	毎朝	・入居者。利用者当の状況確認・ショート利用確認・業務、行事報告、連絡事項・情報交換・等
・運営委員会	第1. 3月曜/月	・随時施設の課題、要望、重要事項等の施設の管理運営に関する事
・職員連絡会議	第1月曜/月	・毎月時の報告事項、課題事項の提案、立案等の検討
・リーダー会議	1回/月	・看護、介護、支援相談全般、給食等に関し課題、要望事項等
・感染防止対策委員会/研修	1回/月・4回/年	・感染症等対策を検討、感染症知識のレベルアップ等
・ヒヤリハット報告検討会	第1月曜/月	・危険内容の確認、ヒヤリハット共有等状況報告、対策立案等
・事故防止検討委員会/研修 ・安全対策委員会/研修	第1水曜/月 随時 研修2回/年	・各ユニットで検討された事例に基づき、事故防止対策を検討、併せて研修も実施、施設管理 ・災害防止・訓練
・褥瘡予防対策委員会	4回/年・随時	・褥瘡予防の対策の検討及び研修
・身体拘束廃止委員会	2回/年 1回/ 3ヵ月(勉強会)	・身体拘束をゼロにする為には、状況の把握及び勉強会研修
・ケア会議(ご家族参加)	随時	・個別の介護プランの見直し及び今後の介護方針の検討等
・給食会議・厨房会議	第1月曜/月	・行事食、業務改善、献立の検討、入居者の給食について等、委託業者も参加すると同時に厨房でのコミュニケーションを図っている
・栄養ケア会議	第1月曜/月	・入居者の健康状態、栄養状態のモニタリング、スクリーニングを行う
・看取り委員会	4回/年・随時	・看取りの入居者の状態把握、報告や看取りに対する検討、PDCAサイクルの検討等
・レクリエーション委員会	1回/月	・毎月各種の行事計画及び行事開催、反省会等
・入居判定会議	1回/月・随時	・現状把握、入居者判定の検討等
・苦情処理委員会	随時	・苦情に対する確認、把握、検討等、再発防止の検討
・第三者委員会	2回/年・随時	・外部委員(評議員、監事、民生・児童員)への報告及び助言

・腰痛予防対策委員会/研修	2回/年	・腰痛対策、介護の手法の検討及び介護ロボットの検討等
・ミールラウンド (摂食維持管理)	1回/月	・誤嚥が認められる人、誤嚥の可能性の大きい人を対象に食事風景を他職種で見て回り、胃瘻、経管栄養になることなく、口から食べていただく検討をする
・入浴委員会 ・排泄/褥瘡委員会 ・口腔ケア委員会 ・虐待防止/接遇委員会		1回/月

1. 施設事業運営

(1) サービス区分

① 特別養護老人ホーム

高齢により身体または精神上に著しい障害があり、常時介護が必要かつ居宅での介護が困難な方へ入所サービスを提供しました。

また、コロナ禍ではありますが、新規入居者様の受け入れは、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、令和4年度も施設独自に抗原検査を実施した上で、安全にご入居いただきました。

また、特養並びにショートステイにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として施設内感染が有り得ることを想定し、陰圧装置を1日あたり16時間、365日稼働することにより、多種に渡る感染症拡大を阻止することができ、職員一丸となり大きな介護事故もなく質の高い介護ができました。

また、外部との接点として、地域包括及び各介護事業所との連携も、新型コロナウイルス感染症防止対策を施した上で、可能な範囲で連携推進を図り新規入居者や利用者様が円滑にご利用いただけるよう協力いただきました。

最後に、社会福祉法人の公益的取り組みの実施や、地域福祉法人で構成する『勝央町福祉ネット金時』の連携により、地域の社会福祉に貢献できるよう活動しました。そして、地域包括ケアの構築を目指して事業活動に取り組みました。

1年間を通して特養入居（平均稼働率）はコロナ禍の中、約93.8%の実績に終わり、介護報酬収入では前年度を上回ることができました。

② ショートステイ

ショートステイは、介護予防及び要介護認定を受けている在宅の高齢者に対し、家庭介護が困難な方を受入れ、介護者の負担軽減を図るといった在宅介護の本質的な役割を果たしました。

また、ロングショートステイの利用に加え、職員がこれまで蓄積した介護力を発揮し利用者様を選ばない幅の広い受け入れが実績にプラスと作用しました。

その結果、令和4年度ショート利用（平均稼働率）はコロナ禍の中、約81%の利用実績となり、介護報酬収入では前年度と同様に実績を残すことが出来ました。

新型コロナウイルスの抗原検査に関しては、令和4年度も特養のみならず、ショート

ステイでも新規利用者及びリピートによる定期利用についても、利用時は毎回必須として抗原検査を実施し、安心・安全を担保に利用いただきました。（令和4年度利用時抗原検査数977名／年）

コロナが5類に移行され終息を願いつつ、地域の社会福祉インフラとして、「うつらない」「うつさない」「持ち込まない」をモットーに感染防止対策が行き届いた、安心・安全な施設運営を行います。

（2）特養・ショートステイ利用者数

① 特別養護老人ホーム

定員50名 年間延べ利用者数 16,965名（1日平均46.5名）
 月間平均利用者数 1,414名（月間平均稼働率94.3%）

② ショートステイ

定員10名 年間延べ利用者数 2,968名
 月間平均利用者数 247名（月間平均稼働率82.3%）

③ 入所者の状況

- ・各月末入所者数の年間合計 573名（月平均47.75名）
- ・各月末入院者数の年間合計 29名（月平均2.41名）
- ・新規入所者数の年間合計 28名（月平均2.33名）
- ・退所者数の年間合計 25名（月平均2.08名）

	月末入居者数	入院者数	新規入居者数	退去者数
4月	48	2	1	0
5月	46	4	2	4
6月	47	2	3	2
7月	46	1	3	4
8月	47	3	3	2
9月	46	2	3	4
10月	49	5	4	1
11月	50	3	2	1
12月	47	2	2	5
1月	48	0	2	1
2月	49	2	2	1
3月	50	3	1	0
合計	573人	29人	28人	25人

④ 特養・年齢別・性別の状況（下図—令和5年3月31日現在）

年齢 性別	65歳 未満	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	計	平均 年齢
男性	0	0	1	1	4	3	2	0	11	83. 4歳
女性	0	0	0	2	3	9	15	10	39	91. 3歳
計	0人	0人	1人	3人	7人	12人	17人	10人	50人	87. 3歳

⑤ 令和4年度末 特養・要介護度別の状況（下図）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	0人	0人	0人	5人	25人	20人	50人

（3）利用者サービス

●健康管理

① 津山クリニック嘱託医とあかり双方の看護師が密に連携し健康管理の充実を図りました。また、インフルエンザワクチン接種やコロナワクチン接種4回目、5回目を希望される入居者様と職員の接種を完了しました。

② 協力歯科医師の往診、歯科医師と歯科衛生士による口腔ケア及び口腔ケア指導・研修に注力しました。長期的な効果として、引き続き誤嚥性肺炎のリスクが軽減されました。口腔ケアの充実は感染予防としての側面や効果に繋がる事を研修で習得し、新型コロナウイルス感染症予防策としても口腔ケアに注力しました。

③ 多職種連携での感染防止対策委員会の開催を重ね、感染症対策に注力した結果、令和4年度も新型コロナウイルスのみならず、インフルエンザ等を含めた全ての感染症について、これまで以上に感染予防策の周知徹底に努め、施設入居者、利用者様の健康と生命を守る一方、職員の感染リスクを低減させるよう、全職員が力を合わせ、感染予防と手厚いケアの両立に取り組みました。

（4）行事、レクリエーション、地域交流等、ボランティア行事

下記、全ての開催においては、新型コロナ感染防止対策を講じ実施し、対策を詳細に伝達しています。（但し、開催を中止する場合もありました。）

●年間定例行事（ボランティア行事含む）

- ・毎月定例－運営会議／2回、入居判定会議／1回、口腔ケア指導／4回、職員連絡会議、看取り委員会、事故防止委員会、安全対策委員会、給食会議／1回、理美容／0～2回、レク委員会／1回、嘱託医回診1回（50名）、石井会計月次会計報告実施／1回、等
- ・4月度－レク行事「お花見弁当会／感染防止徹底により施設内実施」開催
- ・5月度－開設15周年記念お弁当、すみれ会環境整備、レク行事「春のドライブ実施（対象者、場所、手法は要相談の上、実施）」、監事監査、第1回理事会開催、第1回自衛消防避難訓練実施、消防設備点検実施、定期貯水槽清掃
- ・6月度－レク行事「各ユニット運動会実施／感染防止徹底の上、実施」、第1、2回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施（オリエンテーション）、第1回評議員会実施、第1回消防設備定期点検実施
- ・7月度－レク行事「各ユニット七夕会／感染防止対策の上、実施」、定期水道水質検査、第1、2、3回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、参議院岡山県選挙区選挙・比例代表選挙不在者投票実施
- ・8月度－レク行事「各ユニット夏まつり／感染防止対策の上、開催」、第4回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施、第4回目コロナワクチン接種実施（入居者様・役職員）
- ・9月度－レク行事「各ユニット敬老会及び表彰／感染防止対策の上、開催」、第5、6回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、敬老弁当、第三者委員会（書面報告）、第1回安全対策及び事故防止対策職員伝達研修
- ・10月度－レク行事「秋のドライブ感染防止対策の上、中止」、すみれ会、第8、9回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、第7回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、金時ネットワーク勝央町清掃奉仕活動、民生委員あかり清掃、第1～3回職員事故防止研修（タッピング・ハイムリッヒ実施）、元副理事長胸像除幕式開催、おやつ喫茶/感染防止対策の上、各ユニット実施」、インフルエンザワクチン接種実施（入居者様・役職員）
- ・11月度－レク行事「文化祭作品展示／各ユニット、園芸福祉（ボランティア）、第2回自衛消防避難誘導訓練、第2回消防設備定期点検実施、北部訓練校実習生受入れ実施（4名）
- ・12月度－レク行事「各ユニットクリスマス会～25日、感染防止対策の上、実施」、第2回理事会開催、令和4年度社会福祉法人等指導監査、すみれ会、第2回自衛消防避難誘導消火訓練及び第1回災害（水害）垂直避難誘導訓練、勝央町民生児童委員協議会慰問、第5回目コロナワクチン接種実施（入居者様・役職員）

- ・1月度ー 新年互例会開催、レク行事「新年会/感染防止対策の上、各ユニット実施」
第2回評議員会開催
- ・2月度ー レク行事「節分祭/感染防止対策の上、各ユニット実施」
- ・3月度ー レク行事「ひな祭/感染防止対策の上、各ユニット実施」、第2回第三者委員会（書面報告）、第3回理事会開催、第2回安全対策及び事故防止対策職員伝達研修

(5) 職員待遇及び職員採用・退職の状況（令和5年3月31日現在）

●職員	●常勤数	●非常勤数
嘱託医（津山クリニック）		1名
施設長	1名	
事務員	1名	
介護・看護職長		1名
看護職員	1名	2名
介護長	1名	
介護職員	24名（内介護福祉士21名）	9名（内介護福祉士4名）
		*認定特定行為業務従事者（第2号）7名／21名中
介護支援専門員	1名	
生活相談員	2名	
管理栄養士	1名	
歯科衛生士		1名
宿直員		2名
運転員		1名
清掃員		2名
計	34名	18名

●下図ー（令和3年度末から令和4年度末現在）

	施設長	事務員	生活 相談員	介護 支援 専門員	介護 職員	看護 職員	管理 栄養士	嘱託医	宿直他	合計
令和3年度職員数	1人	1人	2人	1人	38人	4人	1人	1人	4人	53人
採用	0	0	0	0	1	1	0	0	3	5人
退職	0	0	0	0	-5	0	0	0	-1	-6人
業務異動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
令和4年度末小計	1人	1人	2人	1人	34人	5人	1人	1人	6人	52人

- 定年退職者 1名（令和4年度再雇用予定1名）
- 実務者研修終了者 2名
- 介護福祉士合格者 1名
- 認定特定行為業務従事者（第2号）修了者 0名

●健康管理

年2回の健康診断の実施。津山クリニック医師、看護師による健康指導を行いました。

●労務管理

管理者、役職者による定期個別面談を行い、きめ細やかな意思疎通を図りました。

●職員外部研修及び会議等

（全国老人福祉協議会、全国経営者協議会、岡山県主催、岡山県社会福祉協議会、岡山県看護協会、岡山県介護福祉士会、岡山県ケアマネ協会、各市町村主催、他主催等）当初に予定されていた研修は、令和4年度も各機関の研修全般がリモートでの研修へ変更されました。また、感染防止の観点から研修中止も多数に及びました。

対象職種	時期	場所	研修者	内容
施設長	R4. 5. 12	勝央町保健福祉センター	有田 卓司	勝央町福祉ネット金時会議
	R4. 5. 30	県立北部高等技術専門校		北部高等技術専門校運営協議会総会
	R4. 6. 14	社福）桜楽会特養のどか		社会福祉法人桜楽会評議員会
	R4. 6. 23	津山信用金庫本店		災害 BCP セミナー
	R4. 7. 11	勝央町保健福祉センター		勝央町福祉ネット金時会議
	R4. 7. 27	勝央町保健福祉センター		勝央町保健福祉推進委員会
	R4. 8. 22	岡山県立勝間田高等学校		高校生就活見学会
	R4. 8. 29	勝央町福祉福祉センター		勝央町福祉ネット金時会議
	R4. 10. 2	勝央町内		勝央町福祉ネット金時/活動
	R4. 10. 26	岡山きらめきプラザ		市町村福祉ネット情報交換会
	R4. 11. 17	岡山県立津山東高等学校		医療機関施設施設説明会
	R4. 11. 21	勝央町保健福祉センター		勝央町保健福祉推進委員会
R4. 12. 20	勝央町保健福祉センター	勝央町保健福祉推進委員会		
事務員	R4. 11. 17	県立津山東高等学校	児島 明人	医療機関施設施設説明会
介護支援 専門員 (主任)	R4. 7. 26	あかり On-line	佐藤 建子	主任ケアマネ研修会
	R4. 8. 9	あかり On-line		ケアマネジャー大会
	R4. 9. 30	あかり On-line		主任ケアマネ ZOOM 研修会
	R4. 10. 4	あかり On-line		主任ケアマネ ZOOM 研修会
	R4. 10. 11	岡山		主任ケアマネ研修会
	R4. 10. 12	岡山		主任ケアマネ研修会
R4. 10. 21	岡山	主任ケアマネ研修会		

	R4. 10. 22	岡山		主任ケアマネ研修会
	R4. 11. 3	岡山		主任ケアマネ研修会
	R4. 11. 4	岡山		主任ケアマネ研修会
管理栄養士	R4. 10. 31	あかり On-line	佐野 治美	県栄養士会（食事支援マネジメント）
	R4. 11. 6	あかり On-line		県栄養士会（介護保険改定後 LIFE）
	R5. 2. 22	あかり On-line		R4 年度給食施設従事者研修会
介護士	R4. 7. 3～	あかり地域交流	板倉 楓	介護福祉士実務者研修
	R4. 10. 16		山本 岬	第1回～第9回開催

●施設内職員研修(感染防止対策徹底の下、地域交流及び2階パブリックにおいて開催)
(但し、コロナ禍において、感染状況を鑑み研修の中止もありました。)

- R4. 10. 5 ・第1回安全対策委員会研修／職員連絡会議
- R4. 10. 12 ・第1回事業防止委員会研修（タッピング・ハイムリッヒ実技）
講師 八木宿直員（救急救命士）
- R4. 10. 15 ・第2回事業防止委員会研修（タッピング・ハイムリッヒ実技）
講師 八木宿直員（救急救命士）
- R4. 10. 18 ・第3回事業防止委員会研修（タッピング・ハイムリッヒ実技）
講師 八木宿直員（救急救命士）
- R4. 11. 10 ・第1回身体拘束廃止廃止委員会職員研修／講師 西本相談員
- R4. 11. 10 ・第1回虐待防止委員会職員研修／講師 西本、赤堀相談員
- R5. 2. 8 ・第1回 褥瘡予防委員会職員研修／講師 猪子看護師
- R5. 2. 10 ・第2回 褥瘡予防委員会職員研修／講師 猪子看護師
- R5. 3. 1 ・第2回安全対策委員会研修／職員連絡会議
- R5. 3. 7 ・第2回身体拘束廃止廃止委員会職員研修／講師 西本相談員
- R5. 3. 7 ・第2回虐待防止委員会職員研修／講師 西本、赤堀相談員
- R5. 3. 16 ・第1回口腔ケア職員研修／講師 非常勤 飯田歯科衛生士
(第2回目開催はコロナ禍により近日開催とし延期としました)

(6) 施設管理

- ① シャワーストレッチャー1台購入
- ② 施設エアコン2階エリア室外機（凝縮器、冷媒ファンモーターの劣化のため修理交換を行いました。）
- ③ 施設エアコン1階厨房系統圧縮機ガス漏れのため交換を行いました。
- ④ 社会保険労務士事務所と顧問契約を締結しました。

(7) 実習生受入れについて

岡山県立北部高等技術専門校 ケアサービス科の実習生（2回／年間受入れ）については1回目の5月はコロナ禍により中止としましたが、11月には感染対策の上、4名の実習生を受入れ開催しました。

また、美作大学生生活科学部食物学科実習生（1回／年間受入れ）6月に開催する予定としておりましたが、コロナ禍により開催中止となりました。

(8) 2022年、夏のボランティア並びにインターシップ受入れについて

コロナ禍により感染防止対策上、開催は中止となりました。

(9) 研修機関取り組みとして

介護職員実務者研修終了課程取得に向けた、専門研修機関である倉敷市（株）ハートスイッチ様と提携し、あかりを県北部の研修会場として今年度もコロナ禍の中、地域貢献とし地域交流スペースを会場として提供しました。

今年度も内・外部の研修希望介護士が参加し、実務者研修を開催することができました。

(10) 公益活動における地域貢献として

1. 勝央町並びに社会福祉協議会と連携し、法人所有のバス利用による勝央町民への買い物支援活動の実施に着手しかけた折、新型コロナウイルス感染拡大により令和4年度内の実施が延期となりました。
2. 勝央町内にある5福祉法人で活動する「勝央町福祉ネット金時」の連携により、地域の社会福祉に貢献できる活動や多様なボランティア活動の実施により、地域包括ケアの構築を目指し、地域貢献活動を行っております。

以上、(8)(10)の1の取り組みや実施については、新型コロナウイルス感染症拡大によって自粛や開催中止となりましたが、5類移行後についても感染終息を願いつつ、近隣等の感染状況を確認しながら計画を立案していきます。

令和4年度 事業報告書

津山クリニック

概要

平成30年のクリニック開設から5年が経過しました。公益事業として地域密着を掲げるクリニックの運営は、新型コロナウイルスとの戦いとも言えるものでした。

令和2年の新型コロナウイルス初感染確認から3年、可能な限りの感染防止対策を行いながら、途切れることのない安定した地域医療サービスを提供しております。

乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層の患者様が利用されており、当クリニックの基本理念として掲げていた、地域のかかりつけ医としての「保健室」のような存在が具現化されてきたのではないかと考えています。

事業運営

① 新型コロナウイルス感染症等対策

新型コロナウイルス感染症対策については、職員を含めた院内での検温実施を徹底し、発熱症状のある患者様の院外、車中での対応を実施することにより、一般患者様との接触を回避し感染拡大防止を行いました。

新型コロナウイルスのワクチン接種については、3回目以降のワクチン接種を積極的に推進し、地域の感染予防、感染拡大防止に尽力しました。

② リウマチ専門外来

特定日にリウマチ専門外来を新設しました。

リウマチに悩む患者様に寄り添い、高度かつ専門的な医療を提供する中、数多くの喜びの声が寄せられています。各医療機関からの紹介やクチコミを含め、リピーターを数多く掴んでいます。

③ 軽度認知障害検査 (MCI)

健常者と認知症の中間段階である、軽度認知障害の検査促進を行いました。

軽度認知障害段階において、適切な予防や治療を行えば、認知症そのものの発症を遅らせる効果が期待できます。今後も注力し、その後の受診に繋がりたいと考えております。

。

④他拠点との連携

社会福祉法人藤暢会の医療部門を担うクリニックとして、特養あかりの入居者様と職員、東和ほほえみ保育園の職員、その他関係者について、希望者全てにコロナ及びインフルエンザワクチンの接種を実施、法人全体に貢献することが出来ました。

⑤研修

地域医療福祉の担い手として、自己研鑽を図り、高いレベルの医療サービスを行うための学会や、研修への参加を積極的に実施し、新しい知識の医療現場への還元に努めました。

1日あたりの来院患者数推移

患者数/1日あたり(人)

	前期実績	当期実績	増減	増減率
4月	115.2	128.6	13.4	111.6%
5月	127.9	134.0	6.1	104.8%
6月	129.2	138.0	8.8	106.8%
7月	149.0	137.0	-12.0	92.0%
8月	158.0	128.0	-30.0	81.0%
9月	147.7	138.8	-8.9	94.0%
10月	153.7	131.2	-22.5	85.3%
11月	163.3	126.8	-36.5	77.7%
12月	149.8	133.7	-16.1	89.2%
1月	148.7	119.7	-29.0	80.5%
2月	126.5	136.7	10.2	108.0%
3月	135.2	131.1	-4.1	97.0%
平均	141.6	131.9	-9.7	93.1%

今後のクリニック運営

新型コロナウイルスの5類移行後も、感染防止対策として、コロナウイルスワクチン接種のニーズは高いと考えられます。ワクチン接種機関として、地域貢献を果たしていく方針です。

コロナウイルス蔓延時期に導入した、Web問診システムを活用し、接触機会を減少させた感染防止対策や、メリットの高い診療方法の提供により、地域社会に寄り添った「保健室」として、安心、安全なクリニック運営を行っていきます。

令和4年度 事業報告書

東和ほほえみ保育園岡山

<概要>

企業主導型保育事業受託運営開始5年目として、保育指針に則り、企業(東和薬品株式会社)の従業員の働きやすい職場環境づくりを支援するため、また、地域住民の子育てサポートを行うことを目的として保育事業に取り組みました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症流行により、園児の感染もありましたが、幸いにも園内での感染拡大、クラスターが発生することなく、休園という事態は免れることができました。

日常保育や行事運営については、感染状況を踏まえながら開催方法の変更や、延期、中止などの検討を行いました。毎月の誕生会、季節の行事はクラスごとに実施しました。また、保護者参加行事については、10月の運動会は中止しましたが、感染拡大が落ち着いた時期に、入園進級式、七夕まつり、親子ふれあいデーを開催することができました。行事は、普段の保育の様子が伝わる行事内容を検討した上で実施しましたので、参加された保護者からは、普段の子ども同士の関わりや、保育者との関わりを見ることができて良かったとの声が多く聞かれました。

社会的には保育士の不適切保育が大きく報道された一年でした。当園では全職員で自分及び園内の保育を振り返る「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト」を実施しました。また、不適切保育についてのWEB研修にも参加し、今まで『子どものために』と思って行ってきた言動でも、場合によっては不適切保育になることも学びました。この課題については、令和5年度も引き続き園内での研修を行い、保育の質の向上を目指していきたいと考えています。

1. 施設運営方針

保育理念 「個を大切にし、丈夫な体と豊かな心を育てる」

保育方針 「一人ひとりの子どもの個性を大切にします」

「遊びを通して、基礎的な体づくりに取り組みます」

「家庭との連携を大切にし、子どもの成長を見守ります」

保育目標 「たくましい子」「素直な子」「思いやりのある子」「考える子」

2. 施設概要

事業内容	企業主導型保育事業
定員	30名 (企業枠は3名以上、地域枠は定員の50%まで受入れ可能)
受入れ年齢	0歳児(生後6か月)～5歳児
開園日数	週6日(日・祝日は休園、但し東和薬品(株)岡山工場開業日の祝日は開園)
開園時間	基本保育時間 7:30～18:30
提供サービス	延長保育(18:30～19:30) 体調不良児保育 一時預かり保育
その他	子育て相談等

3. 職員待遇

《 常勤 》

園長 1名 主任 1名 副主任 1名 保育士 8名
看護師 1名 栄養士 1名 調理師 1名 連携推進員 1名 計15名

《 非常勤 》

調理師 1名 准看護師 1名 計2名

※内保育士1名、看護師1名が年度途中で育児休業から復職
調理師1名が育児休暇取得中

4. 園児数推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
園児数(名)	14	15	17	18	20	22
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数(名)	24	25	25	25	26	26

《 年齢・クラスの内訳 》

クラス名	年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月
うさぎ組	2歳児(名)	8	8	8	8	8	8
りす組	1歳児(名)	4	4	5	5	7	7
ひよこ組	0歳児(名)	2	3	4	5	5	7
合計(名)		14	15	17	18	20	22

クラス名	年齢	10月	11月	12月	1月	2月	3月
うさぎ組	2歳児(名)	8	8	8	8	8	8
りす組	1歳児(名)	7	7	7	7	7	7
ひよこ組	0歳児(名)	9	10	10	10	11	11
合計(名)		24	25	25	25	26	26

5. 年間行事

月日	行事内容	参加人数
4月2日(土)	入園進級式	親子11組、職員14名
6月30日(木)	不審者対応訓練 (美作警察署職員立会)	園児16名、職員13名
7月9日(土)	七夕まつり	親子17組、職員13名
7月21日(木)	園児歯科検診	園児17名 (欠席者は後日受診)
6月1日(水) ～9月9日(金)	水遊び・感覚遊び	全園児対象(各クラスで)
9月12日(月)	園児内科検診	20名(欠席者は後日受診)
10月20日(木)	消防署職員立会避難訓練 (通報訓練、消火訓練)	園児19名、職員11名
10月26日(水)	ポニーとのふれあい体験	園児23名、職員11名
12月24日(金)	クリスマス会	在園児18名(各クラスで)
1月13日(金)	とんど	各クラス時間差で参加 園児17名、職員12名
1月31日(火)	不審者対応訓練 SECOM職員立会	園児20名、職員11名
2月3日(金)	節分	園児21名(各クラスで) 職員11名
3月3日(金)	ひなまつり	園児26名(各クラスで) 職員11名
3月13日(月)	園児内科検診	在園児26名・新入園児5名 欠席の新入園児1名は後日受診
3月18日(土)	親子ふれあいデー	親子24組、職員12名

※その他 毎月実施：誕生日会、身体測定、避難訓練

6. 給食

園児の活動の源である給食は、栄養士が作成した献立を基に、食材は国産の材料を使用し、旬のものを取り入れながら、園内調理で主食・汁物・主菜・副菜を揃えた完全給食を実施しています。

好き嫌いがあっても一口から食べられるように、調理方法にも工夫を凝らしています。

■ 食育活動

毎月19日を「食育の日」とし、親子で食べ物について話せる機会にできればと、旬の食材を使用した給食を提供。保護者には給食展示と共に掲示で旬の食材の栄養や調理方法について紹介しました。

■ 離乳食への対応

中期食、後期食、移行食に分けて、毎月1回面談を行いながら保護者と連携をとりつつ、個々の発達状況に合わせた離乳食を提供しました。

■ 食物アレルギー児への対応

食物アレルギーのあるお子さまは、医師の診断書・指示書に基づき、保護者と面談を実施した上で、除去食を提供しました。今年度は卵2名、バナナ1名の合計3名に対応しました。

■ 衛生管理

集団給食施設届出を美作保健所に提出しています。

また、全職員は毎月検便を行っています。特に、10月～3月の感染症流行期にはノロウイルスの検便も追加して実施しています。

7. 体調不良児保育

看護師1名（看護師育休中は准看護師1名）を配置し、園児が保育中に熱を出すなどの体調不良となった場合、保護者のお迎えまで医務室にて保育をしました。

新型コロナウイルス感染防止の為、37.5℃以上の発熱が認められた場合は、なるべく保護者にお迎えをお願いしましたが、仕事の都合でどうしてもすぐにお迎えに來れない場合は感染予防対策をとり、体調不良児保育を実施しました。

《 令和4年度 月別のべ利用者数 》 ※ 年間のべ利用者数 合計147名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	3名	3名	2名	11名	4名	3名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	9名	28名	24名	25名	17名	18名

8. 延長保育

保護者就労時間の長時間化により、毎月数名の延長保育利用がありました。

《 令和4年度 月別のべ利用者数 》 ※ 年間のべ利用者数 合計 35名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	4名	5名	9名	3名	3名	2名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	1名	1名	1名	0名	2名	4名

9. 一時預かり保育

本来は地域の子育て支援を主たる目的として行って参りましたが、新型コロナウイルス感染症対策の為、一般の一時預かり保育は実施せず、東和薬品株式会社祝日開園日の東和社員のお子様の保育と、また退園児の退園後の保育に限り、検温等体調チェックを受け入れ1週間前から保護者に依頼し、実施しました。

※ 利用登録者数：家庭数4 / 子ども 5名

《 令和4年度 月別のべ利用者数 》 ※ 年間のべ利用者数 合計 13名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	6名	2名	2名	1名	0名	0名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	0名	1名	0名	0名	1名	0名

10. 子育て相談

毎日の園児登降園の際には、必ず保護者の様子も確認するようにしています。時には家庭での様子を聞く中で、気になった保護者や、相談を希望する保護者と、落ち着いた雰囲気の間を設定して子育て相談を行いました。

今年度は特に保護者自身のサポートが必要なケースがあり、個別に時間を設けて話をする事で、園児と保護者の支援を行いました。

また、退園された園児の保護者からも1件相談依頼がありました。

実施回数：在園児保護者1名（のべ3回）

地域保護者（元園児保護者）1名

場 所：ほほえみルーム

内 容：「保護者の仕事について」「家庭の問題について」「子育てについて」

1 1. 職員研修

保育分野、調理分野共に専門職としての自己研鑽に努める為、毎月1回の職員会議を行い、保育実践の振り返りと評価を行い、保育の質の向上と職員全体の共通理解や意識の統一を図りました。

【研修】

月 日	研 修 内 容	主 催	参 加 者
5/12 (木)	「保育業界におけるSDGs」 講師：汐見稔幸	あいおいニッセイ同和 損保	園長・主任
5/27 (金) 13:30~15:30	「保育士である前に一人の社会人としてのビジネスマナーを学ぶ」 講師：大橋雄一・長谷川望美	日本子ども育成協議会	保育士3名
6/9 (木) 13:30~15:00	「～わくわく好循環で保育がもっと楽しくなる～ここから始める！超初級ドキュメンテーションセミナー」 講師：大豆生田啓友	ベネッセコーポレーション	保育士3名
6/8 (水) ～7/8 (水) 13:00~15:30	新人保育者スタートアッセミナー 「子どもと共に成長し続ける保育者のために」講師：井桁容子	日本保育協会	保育士全員
7/5 (火) 13:30~15:30	「保育施設看護師としての役回りと業務に関する内容」 講師：遠藤登	日本子ども育成協議会	看護師
7/9 (木) 13:00~15:00	普通救命講習 I	津山圏域消防組合東消防署職員	職員14名
7/14 (木)	「今日から実践！子どものEQを高める効果的な絵本の読み聞かせ」	ベネッセコーポレーション	保育士1名
8/5 (金) 13:00~15:30	「保護者の理解とかかわり～保育者が伴奏者となるために～」 講師：木曾陽子	日本保育協会	主任
8/24 (水) 13:00~14:30	「自分らしく人間らしく生きられる場の創造～くつろぎを大切にした保育環境デザイン～」講師：坂本喜一郎	(株) ジャクエツ	保育全員
9/15 (木) 13:30~15:45	令和4年度給食施設管理者研修会	岡山県美作保健所	栄養士
9/15 (木) 13:30~15:30	「0～2歳の発達支援～行動の特性から環境構成・遊びを通した発達支援を考える～」講師：藤原里美	ベネッセコーポレーション	主任

9/1（木）～ 11/30（水）	令和4年度企業主導型保育事業 保育安全研修	公益財団法人 児童育成協会	保育士1名
10/12（水） 10/26（水） 13:00～15:30	令和4年度感染症対策セミナー 「チームで取り組む感染症対策」 講師：菅原民江	日本保育協会	主任 看護師
10/14（金）～ 11/11（金）	令和4年度企業主導型保育事業キャリ アアップ研修（食育・アレルギー対応）	公益財団法人 児童育成協会	
11/1（火）～ 1/31（火）	令和4年度企業主導型保育事業 施設長研修	公益財団法人 児童育成協会	園長
11/22（火） 9:25～15:50	令和4年度岡山県認可外保育施設保育 従事者研修	岡山県	主任
12/21（水） 13:30～15:30	「就学前施設の不適切保育・虐待防止 研修」講師：堀江健	あいおいニッセ イ同和損保	園長
2/13（月） 2/20（月）	勝央町児童虐待防止研修	勝央町	主任 保育士3名
2/22（水）	令和4年度給食施設従事者研修会	岡山県美作保健 所勝英支所	栄養士
3/18（土） 11:15～11:45	「乳幼児期の発達と事故予防（保育安 全研修より）」講師：安部保育士	園内研修	保育士全員

12. 委員会活動

令和3年度に始めた2つの委員会活動を継続して実施しました。安心・安全な保育を目指して職員間で協議し、園内の意思統一を深めることに尽力しました。

①安全対策委員会

1か月間のヒヤリハットを検討し、事故防止に向けてのルール作りや環境改善を行い職員会議にて全職員に周知徹底を行いました。

回	日付	主な内容
第1回	4月21日（木）	離乳食完了前の牛乳提供について デッキの手洗い場に子どもが上がることについて
第2回	5月20日（金）	子ども用トイレ汚物槽の蓋について 避難経路の安全について
第3回	6月15日（金）	お散歩ロープの使用について 避難車の置き場所について
第4回	7月26日（火）	噛みつき事案の対処法について

		食物アレルギーについて 子ども用トイレのドア固定について
第5回	8月23日(火)	食物アレルギーの対応について 避難訓練について
第6回	9月22日(木)	りす組保育室のままごとセットの固定について 降園時の園児飛び出しについて 築山が削れていることについて
第7回	10月21日(金)	給食室エアコンの水漏れについて 夕方の職員体制について
第8回	12月23日(金)	センサーライト設置について 築山の整備について 保護者の職員室への出入りについて
第9回	2月21日(火)	大雪等災害時の対応について 事故2件についての検証 今後の食物アレルギー対応について

② 感染症対策委員会

赤木看護師を中心に、園内の感染症対策について検討し、ルールや環境改善を全職員に周知徹底して、園内の感染症予防に努めました。

回	日付	主な内容
第1回	2022年 5月24日(火)	コロナウイルス感染状況について 基本の感染症予防の徹底について 水遊びについて 嘔吐物処理について
第2回	9月16日(金)	新型コロナウイルス感染症対応について 園児発熱時の対応について プールについて
第3回	11月21日(月)	園内消毒の見直しについて トイレの汚染区域、清潔区域について 食事後の衣類の洗濯について
第4回	2023年 1月24日(火)	感染症罹患時の休み等の基準について 職員トイレの使用後の消毒について